

かわらばん

Itabashi city Elementary school
PTA Federation
板橋区立小学校PTA連合会

第15号

発行
板橋区立小学校
PTA連合会
編集:小P連広報委員会



板橋区コミュニティスクール(iCS)について



板橋区教育委員会
教育長
中川 修一様

●「みんなの学校」を作るために「ある」学校から「つくる」学校に

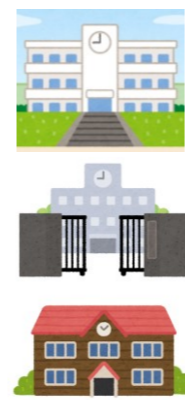
Q 板橋区「コミュニティ・スクール」は？
学校経営に保護者や地域の方が参画する「コミュニティ・スクール委員会」と、教育活動を保護者や地域の方に支援していただく「学校支援地域本部」、この2つを両輪・協働の関係で運営する仕組みが「板橋区コミュニティ・スクール(iCS)」になります。

Q なぜ板橋区「コミュニティ・スクール」を導入する？
私は、板橋区立幼稚園・小中学校の使命を、

○「子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる居場所」であること

○「子どもたちが自己実現できるように確かな学力の定着・向上を図ることが出来る学び舎」であること

と答えしています。そして、そのために板橋区としてめざす3つの「がっこう」を掲げています。



3つの「がっこう」

- 1、学力の定着・向上に向けた「学校づくり」
- 2、学校も家庭も地域も自らの役割と責任を自覚し共有し、地域の子どものために知恵と力を出し合う「合校づくり」
- 3、その学校ならではの特色ある楽しい教育活動が行われる「楽校づくり」

2つめの「合校づくり」に関して、保護者や地域の方に学校に深く関わっていただく、一緒に子どもたちを育てていただく、その結果として大人がつながり、地域コミュニティの活性化が図られる、そのようなことを実現するための手段として、「板橋区コミュニティ・スクール(iCS)」の導入に至りました。

Q iCSに期待することは？

iCSの仕組みを活用することで、「教職員だけ」による学校経営から、子どもや保護者、地域の方々、教職員等地域の学校に関わるすべての人で学校経営を担っていく。また、「教師だけ」の指導から保護者や地域の方々、各種団体や民間事業者等の知恵や経験を活かした教育活動を展開していくなど、従来の「学校だけ」・「教員だけ」といった「だけ」構造からの脱却を図ることができればと願っています。学校は「ある」ではなく、子ども、保護者、地域の方、教職員みんなが「つくる」ものであると考えています。iCS

を通じて、地域全体で子どもを育てる環境をつくり、子どもたちの明るく、元気で前向きな成長へとつなげることができればと期待しています。

Q どのような学校をめざす？

iCSは、保護者や地域のみならずのご理解とご支援をいただき、学校と一緒に地域の子どもたちを育て「地域とともにある学校」の実現をめざす仕組み作りと捉えています。そして、この仕組みが当たり前となり、学校の敷居がぐっと下がり、保護者や地域の方が、「ぶらっと」学校に来て、「ずっと」子どもに寄り添う、「そっと」子どもに寄り添う、そのような「みんなの学校」をめざしていきたいと考えております。



iCSが導入され、その目的が一朝一夕にすべての学校で実現できるとは考えておりませんが、徐々に徐々に各学校のiCSが成熟し、「みんなの学校」が実現できますよう、みなさんのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

● 広報誌コンクール



板橋区立小学校
PTA連合会 会長
横川 隆之

日頃より、板橋区立小学校PTA連合会の活動にご理解、ご協力くださり誠にありがとうございます。

令和元年度板橋区立小学校PTA連合会広報誌コンクール表彰式及び単位PTA役員懇親会におかれましては、200名もの方々にご出席いただき、誠にありがとうございます。広報誌コンクール表彰式では各校広報誌それぞれ趣向をこらした写真の撮り方や配置、文面等素晴らしい広報誌で選考会ではかなり熟慮し表彰校を決めさせていただきました。表彰されました各校の広報委員の皆様、受賞おめでとうございます。

又、単位PTA役員懇親会におかれましては、51校の役員さん同士の活発な意見交換等、親睦もさらに深まったと思います。これを基に、単位PTAの横の繋がりも広がっていけば幸いです。

最後に、私たち会長が小学校PTA連合会や関係団体の活動に参加できるのも、各校の副会長や役員の皆様がPTAの運営をしっかりしていただいているからと感謝しております。今後とも、小P連の活動にご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

受賞校の皆様おめでとうございます♪ 広報誌紹介



教育長賞 北野小学校 「きたの」	校長会会長賞 板橋第八小学校 「野鳥」	連合会長賞 志村第二小学校 「いちよう」	連合会長賞 板橋第六小学校 「いたろくだより」	小P連OB会長賞 成増ヶ丘小学校 「丘だより」	特別賞 金沢小学校 「大好きかなざわ」
------------------------	---------------------------	----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	---------------------------

● 編集後記

お待たせいたしました。かわらばん第15号が完成いたしました。

令和元年度後半の小学校PTA連合会の取り組みを特集いたしました。児童、保護者が楽しくためになるイベントを開催しています。来年度も、ご参加をお待ちしております。

また、次年度から本格的に板橋区の全小・中学校でスタートする「iCS」について中川教育長の熱い解説を掲載しました。ぜひご覧いただき、児童の良き学びの場の提供へのご理解、ご支援をお願いいたします。

今後小中学校PTA連合会や板橋区の様々な取り組みについて情報発信していきますので、よろしく願います。

今年度一年間、ありがとうございました。



広報委員会 委員長
若木小学校 金山 隆之

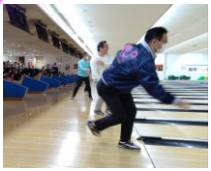
厚生委員会



●バレーボール大会
 令和元年12月8日(日)に板橋区立東板橋体育館にて『第24回小P連バレーボール決勝大会』を開催し、予選会を勝ち抜いた計16校が、トーナメント形式により優勝を目指しました。

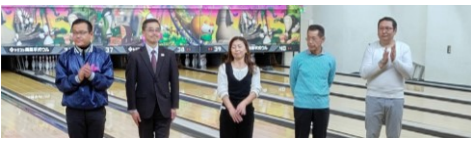
開会式では、中川教育長・横川小P連会長による始球式のほか、板橋区で毎年ホームゲームを開催しているV3リーグの「トヨタモビリティ東京スパークル」の現役選手が応援メッセージをくださいました。

選手宣誓で、板橋第七小のキャプテン、副キャプテンがおっしゃっていた通り、「育兒・家事・仕事の合間に練習を重ね」た成果を十分に発揮するべく、各校とも熱い熱い戦いを繰り広げました。



●親子ふれあいボウリング大会
 2月23日(日)に、トミコシ高島平ボウルにて『第16回親子ふれあいボウリング大会』を開催しました。第一部は76組、第二部は85組、合計161組と大勢の参加者が集まり、会場はとても賑やかな雰囲気になりました。

厚生委員会 委員長
 板橋第七小学校 平井 美和



●小P連の活動
 開会式では、富士見台小・関根校長先生をはじめとするご来賓の皆様や、横川小P連会長、各小学校のPTA会長が始球式を行ったほか、会場のトミコシ高島平ボウル所属のプロボウラー・小林あゆみ選手から、子どもたちに応援メッセージをいただき、デモンストレーションの投げも行っていただきました。

ゲームは、各フレームの第1投を児童、第2投を保護者が投げるといふルールのもと、親子で、友だち同士で親睦を深め合う、とても和やかな雰囲気で行い、ストライクやスペアが出るごとに、あちこちから歓声があがるとともに、笑顔とハイタッチの輪が広がりました。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

小P連の活動



小P連を代表し天津わかしお学校より
 鴨川市へ災害復興費を寄付

**●小学校PTA連合より
 鴨川市へ災害復興費を寄付**
 鴨川市と友好交流している東京都板橋区の区立小学校PTA連合会では1月15日、昨年の台風と豪雨による災害復興に役立てていただきたいと4万1000円を寄付しました。板橋区は鴨川市と天津わかしお学校の縁で、災害協定を締結し、友好関係を続けています。

寄付は、小P連の広報誌コンクルの受賞式典にて災害支援の募金を行いました。

天津わかしお学校PTAスミズ会長と同校吉川校長が小P連を代表し鴨川市小柴副市長へ寄付を手渡しました。

小柴副市長より「貴重な寄付をありがとうございます。災害復興のために活用させていただきます」とお礼をいただきました。

ピーポ110番委員会

●親子ふれあいデー ファミリーコンサート

2月11日(祝)、爽やかな晴天の下、小P連主催の親子ふれあいデーファミリーコンサートがいよいよ開幕です。これから始まるコンサートに期待を膨らませる子どもたち。横川連合会長・中川教育長・鈴木署長のご来賓挨拶の後、日本大学豊山女子高等学校・中学校吹奏楽部の演奏がスタートすると、熱気あふれる満席の会場からは大きな歓声が。パプリカやディズニーの楽曲にのって笑顔でリズムをとる子どもたちの姿が印象的でした。凛々しくもかわいらしいお姉さんたちのパフォーマンスに、憧れの気持ちを抱いた子どもも多かったことでしょう。

幕間には、志村警察署による防犯教室が行われ、ピーポくんのパントマイムに注目が集まりました。皆さん、「いかのおすし」も忘れないでください。そして後半は、警視庁音楽隊・警視庁音楽隊カラーガードの迫力ある演奏・見事な演技が観客を魅了。ドラえもん・となりのトトロ・ルパン三世など親子で楽しめる選曲や、鮮やかに宙を舞うフラッグに目を奪われたりと、会場の盛り上がりは最高潮に。最後は裏方の会長たちによる終演挨拶で、コンサートは和やかに閉幕しました。



ピーポ110番委員会 委員長
 向原小学校 佐藤 勇一

一方で文化会館ロビーでは、ピーポくん・キュウタクくん・りんちゃんらが夢のコラボ。防犯・防災の大切さをアピールしてくれました。子どもたちと並んでたくさんのカメラを向けられていた様子は、さながら人気アイドルの撮影会のように。ご来場の皆さまにおかれましては、楽しく有意義なひとときをお過ごしただけのことと思えます。多大なるご協力をいただいた各団体の皆さまに、この場をお借りして改めまして御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

教育問題対策委員会

●PTA研究大会

2月8日(土)教育支援研修センター研修室にてPTA研究大会を開催しました。保護者の皆様はじめ総勢65名で盛大に開催しました。

「教育の板橋」の最新トピックス「読み解く力の育成」に注目。小中学校連携の取組み「学びのエリア教育」も意識し、テーマを「学びのエリアで考える板橋の読み解く力の育成」と致しました。近年、注目の「読み解く力」の理解を深め、様々な意見交換を行い、板橋の読み解く力を育成する意識を高めました。

教育委員会中川修一教育長より板橋区の読み解く力の育成について講義いただきました。板橋区では正確に文章を読むためにすべての教科の語彙の量を増やし、読み解く力の育成に取組んでいます。話を聞くだけでなく、児童自ら読み学ぶことができ、児童自ら読み学ぶことができ、左右されずに生涯学んで行ける自己学習能力を身につけられます。

講演後は学びのエリア8班でグループディスカッションを行いました。家庭、学校や地域での状況や取組みを話し合い、共通認識を深めました。そして、学びのエリア間で認識の共有、意見交換へと発展させ、白熱したPTA研究大会は大盛況のうち閉会とすることができました。



教育問題対策委員会 委員長
 常盤台小学校 野田 義博

家庭の読み聞かせによる耳からのインプットが読み解く力の育成の基盤を築きます。更に児童の読書、音読より目と耳から文書を読み解くことで必要な語彙力を高めます。それらを総合して理解力、思考力を養うことで、物事の本質を読み解き、自身の考えを言語化し、アウトプットできる児童を育てていく。

私たちの活動が魅力ある学びの取組みの一助になれば幸いです。今年度は天津宿泊研修にて「iCS本格始動に向けて」各校の活動の実際と課題の共有としてPTA研究大会では「学びのエリアで考える板橋の読み解く力の育成」と来年度に本格スタートする最新トピックを題材に熟議を行って参りました。昨年にも増して意識の高い委員で一年となり「子どもたちのために」と活動できましたこと感謝申し上げます。一年間、教育問題対策委員会の活動へ多大なるご理解とご協力、そしてご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。更なる期待を胸に、来年度の活動を胸に、来年度の活動を楽しみにしています。